

## 令和2年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	一般社団法人 鳥取県建設業協会
事業等の名称	高校生の現場見学会
主な対象者	高校生、大学生（保護者含む）
主な取組区分	現場見学
<p>1. 実施時期</p> <p>(1) 令和2年10月13日（火）12時50分～14時30分</p> <p>(2) 令和2年11月10日（火）9時～15時</p> <p>2. 実施場所</p> <p>(1) 鳥取自動車道下味野高架橋上部工事 鳥取市下味野</p> <p>(2) ①国道178号（岩美道路）橋梁下部工事（1工区）岩美郡岩美町浦富</p> <p>② “ “ “ “ ” 橋梁上部工事（浦富高架橋）（2工区）岩美郡岩美町浦富</p> <p>③ “ “ “ “ ” 東浜工区概要説明・東浜トンネル工事現場見学 岩美郡岩美町陸上～牧谷</p> <p>④ “ “ “ “ ” 改良工事（浦富高架橋）（1工区）岩美郡岩美町陸上～牧谷</p> <p>⑤ 鳥取屋内プール25メートルプール改修外工事（建築・電気設備）鳥取市天神町</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数）</p> <p>(1) 鳥取県立鳥取緑風高等学校 総合学科昼間部1・3・4年生 50名 引率教諭 5名</p> <p>(2) 鳥取県立鳥取工業高等学校 建設工学科1年生 36名 引率教諭 2名</p> <p>4. 共催・単独等の開催状況 単独</p> <p>5. 事業等の内容 現場見学及び現場見学会感想文の配布</p> <p>6. 期待される効果（実施結果：効果） 建設業への理解と関心を高め、進路意識の高揚</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 見学現場の選定</p> <p>8. 従前の取組と比較して変更や追加、工夫した内容</p> <p>9. その他</p>	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

## 令和2年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	一般社団法人 鳥取県建設業協会
-----------	-----------------

事業等の名称	高校生の職場体験実習
主な対象者	高校生、大学生（保護者含む）
主な取組区分	体験学習、職業体験
<p>1. 実施時期 令和2年11月10日（火）～12日（木）3日間 米子工業高等学校</p> <p>2. 実施場所 鳥取県内</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数） 鳥取県立米子工業高等学校2年生（土木11社 19名、建築9社 21名）</p> <p>4. 共催・単独等の開催状況 単独（各地区建設業協会会員企業が受入れ）</p> <p>5. 事業等の内容 職業体験を行う研修</p> <p>6. 期待される効果（実施結果：効果） 職業選択におけるミスマッチの減少 社会人としてのコミュニケーション能力の育成及びマナー習得 望ましい勤労感、職業観を養う建設業への理解と関心を高め、進路意識の高揚</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案</p> <p>8. 従前の取組と比較して変更や追加、工夫した内容</p> <p>9. その他 受入れ企業は、鳥取県の「インターンシップ研修受入企業支援交付金」を利用し、人件費の助成を受ける</p>	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

## 令和2年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	一般社団法人 鳥取県建設業協会
-----------	-----------------

事業等の名称	地元新聞を利用した情報発信
主な対象者	一般
主な取組区分	広報誌、新聞、インターネット
<p>1. 実施時期</p> <p>(1) 令和2年8月30日（日）</p> <p>(2) 令和3年1月1日（金）</p> <p>2. 実施場所</p> <p>日本海新聞</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数）</p> <p>一般</p> <p>4. 共催・単独等の開催状況</p> <p>単独</p> <p>5. 事業等の内容</p> <p>(1) 日本海新聞の防災の日特集号に、「災害から地域を守る 建設業の役割」と題し、災害時の建設業界の活動についての記事を掲載</p> <p>(2) 日本海新聞の新年特集号に、建設業界の「働き方改革」についての記事を掲載</p> <p>6. 期待される効果（実施結果：効果）</p> <p>建設業の役割を広く周知する イメージアップ</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案</p> <p>8. 従前の取組と比較して変更や追加、工夫した内容</p> <p>9. その他</p>	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

# 災害から地域を守る

## 建設業の果たす役割

大規模な自然災害が頻発する中、災害現場の最前線で初動対応を担う地域の建設業。最近では2016年秋の鳥取中部地震や17、18年冬の大雪、18年夏の西日本豪雨のときもそうだった。災害は突然やってくる。水防

訓練などで地元の非常事態に備える一方、甚大な被害を受けた県外の被災地に出動して災害応急支援に励むこともある。災害時にインフラ機能を維持し地域の暮らし、経済を守る建設業界の動きを紹介する。

### 被害拡大阻止へ全力

#### 被災地に災害応急支援

今年7月3日以降、九州各県を中心に全国各地に多大な被害をもたらした「令和2年7月豪雨」。九州では1級河川の筑後川や球磨川が氾濫し、浸水や土砂崩れによる死者・行方不明者80人に迫った。集中豪雨による恐ろしい水害が今年も起きた。

#### 7人が九州へ

九州地方の大雨特別警報は熊本、鹿児島県に4日午前4時50分、福岡、佐賀、長崎県に6日午後4時半に発令された。

2018年の西日本豪雨より長期間雨が降り続く可能性があったことから、中国地方整備局はT.E.C.F.O.R.C.E(テックフォース)を派遣するとともに、7日、災害協定を結ぶ「みたこ土建」(米子市八幡)に被災地での災害応急支援を要請。同社は、その日のうちに社員7人を被災地に送り出した。

7人は堤防決壊などで浸水した住宅地の水を河川へ戻す排水ポンプ車と夜間作業のための照明車各1台に乗り込み、倉吉河川国道事務所から約500\*先の現場を目指した。

#### 24時間体制で警戒

関門橋が雨で通行止めとなり、8時間の足止めを余儀なくされた。各地からの応援部隊が集まる福岡県久留米市に到着したのは8日午後。任務地は筑後川流域の原鶴排水樋管(同県朝倉市)に決まった。床上浸水した温泉街の排水作業に備え、堤防にポンプの据え付けを完了したのは9日午後10時だった。

#### 地元の有事顧みる

同社の災害応急支援は一昨年夏の広島・岡山、昨年の秋の宮城に次いで3年連続となる。リーダーを務めた高本龍次さん(57)は「知らない土地で道路が浸水していると、現場に到着するま



夜間、激しい雨の中で、排水ポンプを据え付ける(7月9日、福岡県朝倉市内)

#### 国土強靱化推進を

「普段から継続的に河床掘削や堤防を補強しておくことなどが防災・減災につながる」と訴える鳥取県建設業協会の由正正美会長(67)。

折しもコロナ危機に対する緊急経済対策の財政出動が膨らむ中、国土強靱化のための3カ年緊急対策(2018~20年)後の予算措置を危惧。災害を未然に防止することの重要性を指摘した上で、国土強靱化対策の拡充を求めている。

折しもコロナ危機に対する緊急経済対策の財政出動が膨らむ中、国土強靱化のための3カ年緊急対策(2018~20年)後の予算措置を危惧。災害を未然に防止することの重要性を指摘した上で、国土強靱化対策の拡充を求めている。



熊本県に派遣された鳥取河川国道事務所のT.E.C.F.O.R.C.E隊員が道路崩壊現場で被害状況を調査(7月12日、熊本県八代市内) = 同事務所提供



今後の大雨に備え、設置した排水ポンプを点検(7月10日、福岡県朝倉市内)

## 災害への早めの備え大切

### 県内各地で水防訓練 土のう製作、設置連携確認



クレーン車で土のうを積み重ねる(6月5日、岩美町内)

鳥取県建設業協会(276社)が県に今年1月、大型土のう千袋とブルーシート100枚を寄贈したのを機に、同訓練が初めて実現。東部協会員や鳥取県土整備事務所などから45人が参加した。

3日後に大型台風が上陸し、岩美町の浦生川と小田川の合流地点で堤防決壊の恐れがあるという設定。鳥取市内の土砂置き場での土のう製作し、トラックで岩美町内の堤防へ搬送した。東部協会の由正正美会長(67)は「空振り」になってもいから災害に対する早めの準備、対応が大事だと強調した。

鳥取県西部建設業協会(西部協会、68社)は5月31日、地域住民に呼び掛け、土のうを製作、設置し河川の氾濫に備える事前水防活動を南部町の小松谷川左岸で初めて行った。

西部協会員や住民、県や町の職員を合わせて約60人が参加した。土のうの製作班、設置班に分かれ、それぞれ入れ替わりながら作業。氾濫の恐れがある約60区間に約450個(重さ1個20キ)の土のうを2段に積んだ。



袋に土を入れ、土のうを作る(6月31日、南部町内)

## 令和の時代も信頼と安心

労災上乗せ補償は

# 建設共済保険

掛金が魅力

労働者と企業のリスクをカバー (死亡及び障害1~7級、傷病1~3級)

契約者に役立つ事業充実

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

ともに歩み、ともに支える。



建設共済保険

契約者と業界の発展のために

建設共済保険

検索

http://www.kyousaidan.or.jp/

公益財団法人 建設業福祉共済団  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門プラザタワー11階  
Tel.03-3591-8451 Fax.03-3591-8474  
■取扱機関：(一社)鳥取県建設業協会

# 夢と希望の持てる産業に

## 建設業界の働き方改革



鳥取県内ブルー25ビル改修外工事 (鳥取市、2020年11月)



鳥取県知事  
平井伸治氏

### 現場の力強い動きに期待

あけましておめでとう。鳥取県では、地域において重要な役割を担う建設業の高齢化と人手不足の顕在化を受け、担い手の確保・育成を図るため、施工時期の平準化やICT工事の試行により、長時間労働の是正や生産性の向上を促進するの力強い動きに期待します。



国道178号「若美道路」浦富高架橋の上部工事 (若美町、2020年11月)

人々が安心して暮らせるまちづくりや社会基盤整備に関わり、災害時にはいち早く現場に赴いて復旧・復興活動を担う建設業界。技能・技術系の労働者不足の解消に向け、鳥取県建設業協会(276社)に加盟する多くの企業が、労働時間の縮減や休日の取得向上など就労環境の改善に着手し、その先に若い世代の定着と人材確保を見据える。建設業を夢や希望の持てる産業にしていくため、業界の働き方改革は今後も着実に進みそうだ。

# 就労環境改善し、人材確保

### 月1プラス運動展開

鳥取県土木施工管理技士会が2020年9月、会員を対象に行った調査によると、回答者の1級土木施工管理技士らが勤務するほぼ3分の2の企業で、労働時間の改善に取り組んでいた。その内容で多かったのが、休日の取得や労働時間の縮減、労働災害の防止、社員の健康増進だった。県建設業協会では18年4月から、従来の休日に加え、毎月1日の休日確保を努力目標とする「休日 月1プラス運動」を呼び掛けており、完全

### 県建設業協会の取り組み

週休2日と4週8休の採用を検討している企業が合わせて37.8%(全国平均27.2%)と4割近くに上った。経営者の意識も高まりつつある。若手社員の要望で、年間の休日取得を確保できるカレンダーを作成した「こおげ建設」(八頭町)の山根敏樹社長(59)は「一つの現場が終わると、次の現場に入るまでの間にまとめて休みを取ってもらい、弾力的な対応を心掛けていく。年次休暇が取りやすい配慮と雰囲気大事だ」と強調した。

### 現場支援チーム活躍

「井木組」(琴浦町)は18年4月、「現場支援チーム」を結成した。技術者の長時間労働の要因だった現場作業終了後の写真整理や日報、提出書類の作成作業を代行し、技術者が現場に専念できる環境を整えた。井木組社長(55)は「現場技術者に余裕ができて、よりレベルの高い仕事ができるようになった。回答者の年収が全体の売り上げ増も見え、協会の事務局は「超勤、動いた、19年に導入した勤怠管理システムも社員一人一人の意識付けとなり、超勤時間が目に見えて減った」。

### 女性活躍進む

1550人以上いる県土木施工管理技士の会員のうち女性60人程度。「建設力仕事」という固定概念が残る中、女性ならではの経験、感性を生産性向上に生かせることを考えられるようになり、その数は増えつつある。「特段、女性だからというハードルを感じたことがなかった」と話す吾妻商事(岩美町)の土木施工管理技士、永見純子さん(54)は「その理由に挙げたのは会社のサポート体制。女性を特別視するのではなく、男女のギャップを理解しようという会社の雰囲気も救われた」。



働き方を変える週休2日モデル工事をPRする看板(鳥取市内)

「ものづくりをしたい人には本音が伝わる」というのが、現場で働く技術者の思い。今後は年次休暇も取りやすくなった。現場で働く人たちのコミュニケーションが取れば大丈夫。地図に残る仕事に就くことを夢見る女性たちの背中を押す。

### 鳥取県建設業協会 由宇正実会長に聞く



コロナ禍の2020年を振り返る由宇正実会長

働き方改革の推進は、会員企業の若者の入職を促し、生産性の高い魅力ある業界にしていくのに必要だ。鳥取県建設業協会の由宇正実会長(66)に聞いた。

### 「新3K」実現目指す

さまざまな労働環境改善への取り組みにより、長時間労働の是正は進んでいるが、規制の適用はカンフル剤となるだろう。会員企業の休日以前と比較して増える傾向にある。週休2日制に向かっているのは確か。将来的に担い手を確保、育成していくためには、兆円規模が決定。うち21年度には週休2日工事の普及や工期の適正化、経費の上乗せなど民間工事を含めた発注者の理解も必要。業界もコロナ禍で大きな影響を受けた。資材の納期遅延から工期の延期、工事の中止・白紙化による受注減などももたらした。希望が持てる「新3K」の実現に近付いた。その一方、発注者やメーカーとの打ち合わせがリモートで行われるようになったり、事務作業がある施工管理職や設計業務でテレワーク化が進むなど働き方に変化をもたらした。今後の展望は、国土強靱化に向けた21年度からの5カ年加速化対策15兆円規模が決定。うち21年度分の公共事業費は15カ月予算として、この補正予算に約1・7兆円が計上され、安どしている。若者が地域に貢献できる仕事のやりがいを感じ、もっと感じて働けるようになり、業界イメージ「新3K」(給料が良い、休暇がとれる、希望が持てる)の実現に近付いた。

### 県内企業の主な労働環境改善対策

- 労働時間の縮減**
  - ノー残業デーの設定
  - 固定残業代の導入
  - 各現場で月間シフト計画表作成
  - 現場配置職員の増員
  - 残業、休日出勤は事前申請
- 労働災害の防止**
  - 朝礼時に安全作業を確認
  - 社内安全大会の実施
  - 社内安全パトロールの実施
  - 熱中症対策に空調服支給
- 健康の増進**
  - 定期健診受診の徹底、希望者に健康指導
  - 受動喫煙防止のため、建物内全面禁煙
  - メンタルヘルス対策の充実
- 休日の取得向上**
  - 年次休暇の取得状況をグラフで可視化
  - 振替休日の指導
  - 公共工事は週休2日を取得
  - 現場の祝日、日曜休み
  - 朝礼などで年次休暇取得の呼び掛け
  - 男性の育休取得推進



井木組の現場支援チームのメンバー

## 令和の時代も信頼と安心

ともに歩み、ともに支える。

掛金が魅力  
労働者と企業のリスクをカバー (死亡及び障害1~7級、傷病1~3級)

契約者に役立つ事業充実

育英奨学事業  
被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業  
① 安全衛生用品の頒布  
② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成  
③ 安全衛生推進者表彰 等

# 建設共済保険

労災上乗せ補償は

公益財団法人 建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門等平タワー11層  
Tel.03-3591-8451 Fax.03-3591-8474  
■取扱機関：(一社)鳥取県建設業協会

契約者と業界の発展のために 建設共済保険 検索  
http://www.kyousaidan.or.jp/